

本明川水系流域治水プロジェクトの取組状況について  
【変更・追加 説明資料】

---

# 長崎河川国道事務所

## 取組状況

[長崎地方気象台・長崎県・諫早市との連携事業含む]

# 本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

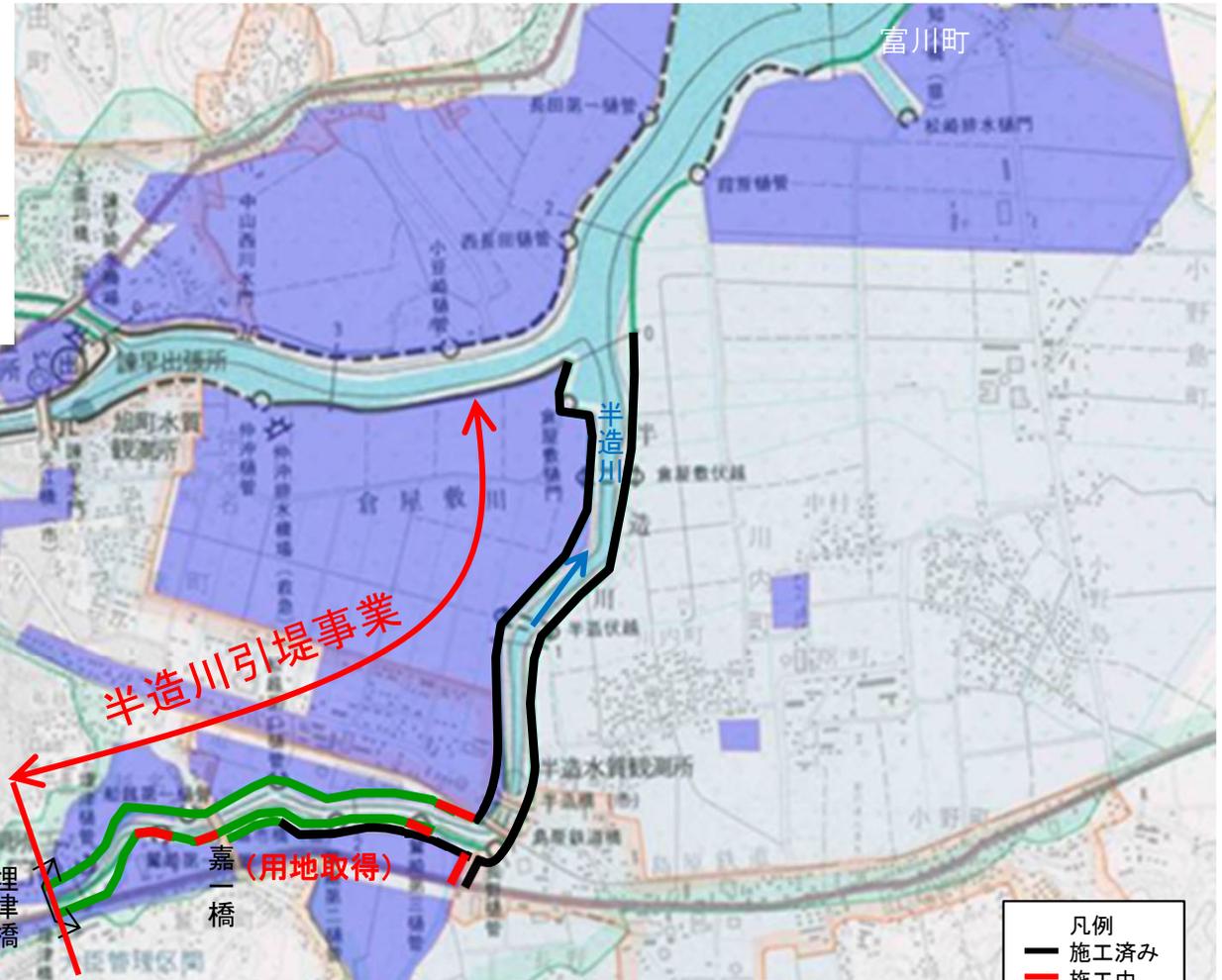
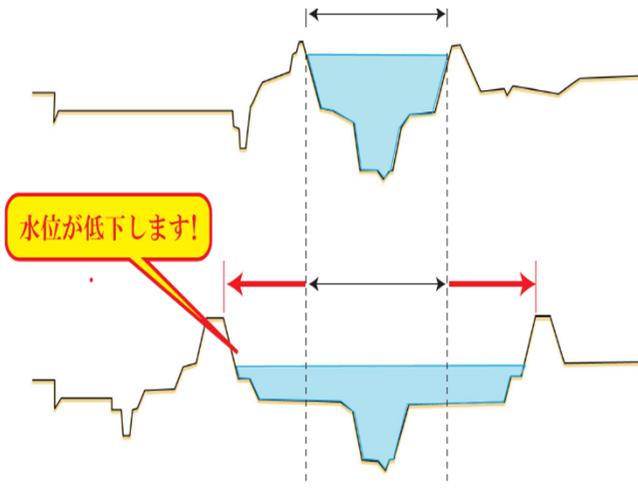
～堤防整備（引堤）～

- 本明川支川半造川は、平成5年度より川幅を広げる引堤事業を実施中
- 下流から上流に向かって順次施工し、令和5年度は、中流部を施工

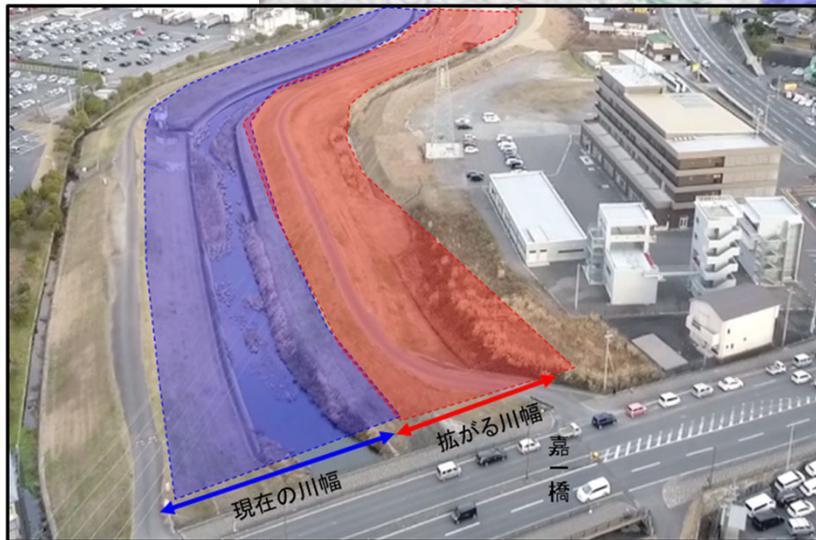
川幅を広げる前



川幅を広げた後



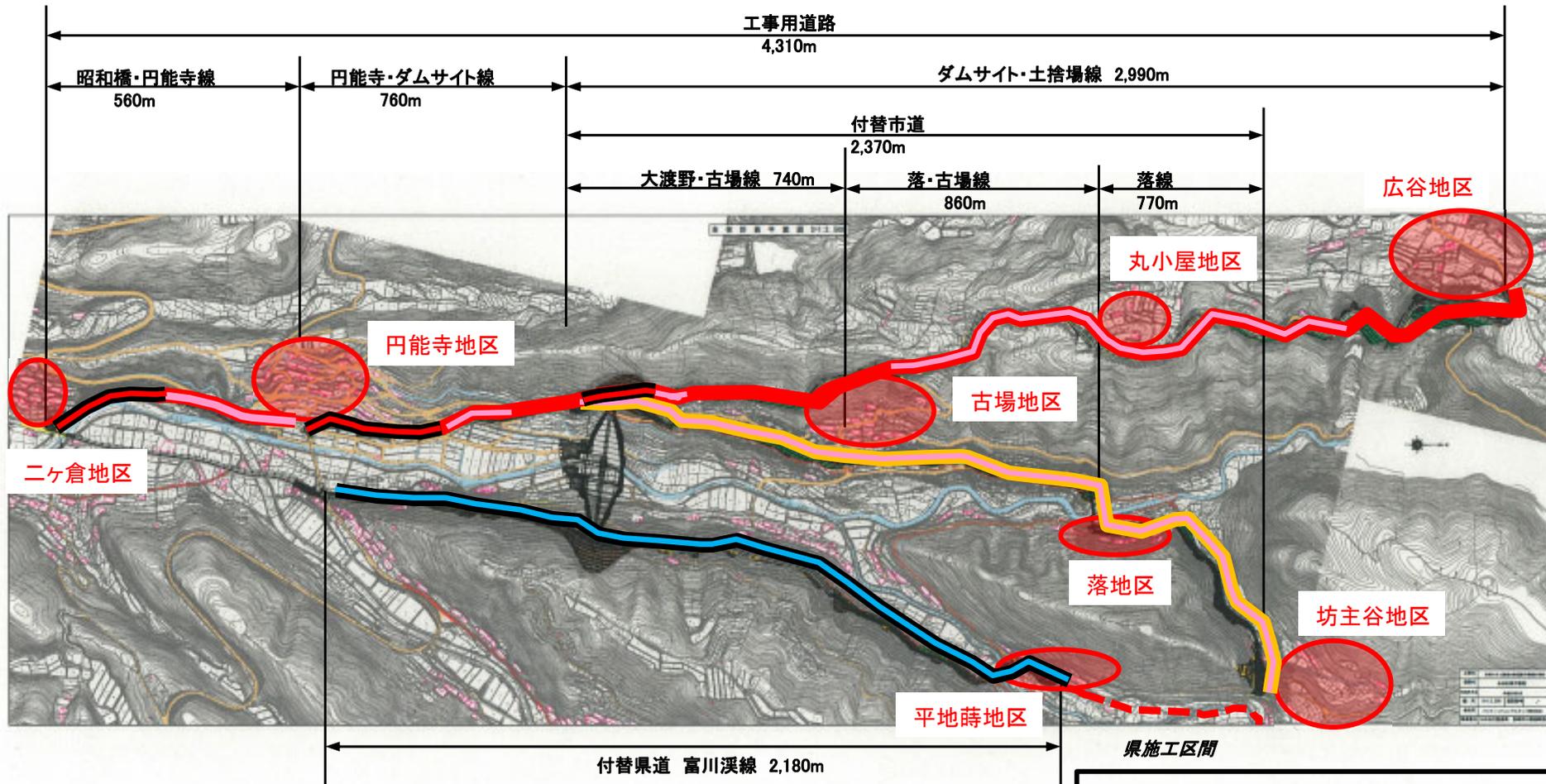
半造川引堤事業(イメージ図)



# 本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

～本明川ダム建設（工事用道路及び付替道路の整備）～

- 本明川上流に洪水調節施設として本明川ダムを計画
- 目的は、洪水時の河川水位を低下させ沿川地域を守る「洪水調節」と渇水時に農業用水を確保し、河川生物にも影響が出ないようにする「流水の正常な機能の維持」
- 平成30年度より付替市道、工事用道路の整備を実施し、令和5年度も実施中。付替県道は令和4年度完成。



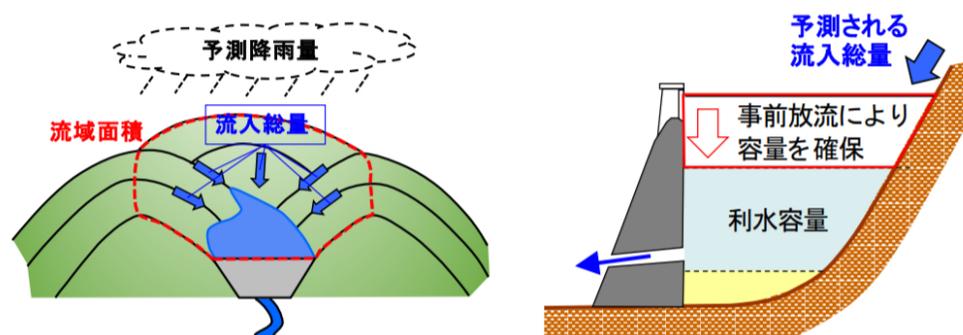
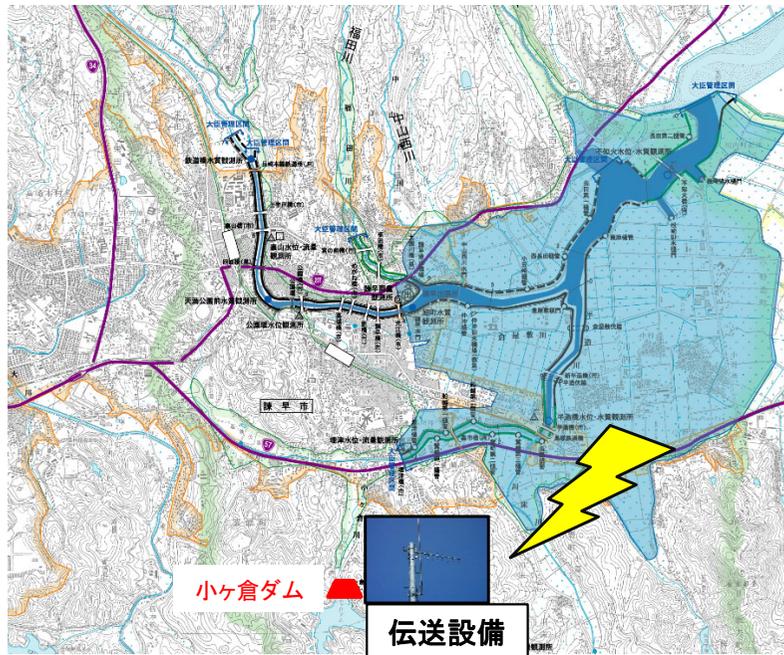
全路線延長計 L=8,860m

凡例	付替県道(R4完成)
	付替市道
	工事用道路
	R5施工箇所
	完成区間

# 本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策】

～小ヶ倉ダムにおける事前放流の実施、体制構築～

- 本明川水系小ヶ倉川上流に位置する小ヶ倉ダムにおいて、「本明川水系治水協定（R2.6.5 付締結）」に基づき、降雨が予想される場合は、事前放流を実施（令和5年度は、条件を満たさず未実施）
- 小ヶ倉ダムの水位情報を河川情報システムで表示するため、国、県等の関係機関で調整中。令和4年度は、伝送設備の設置を実施、令和5年4月からWebサイト「川の防災情報」にて貯水位が表示が可能となった。



ダム事前放流のイメージ図

出典)事前放流ガイドライン 令和2年4月  
国土交通省 水管理・国土保全局

# 本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～関係機関と協力した防災教育の促進～ 【長崎県・長崎地方気象台・長崎河川国道事務所】

- 住民の防災意識向上を図るため、防災に関する出前講座等を実施
- 令和5年度は、諫早市内の小学校、諫早市PTA連合会等を対象に、水害や避難についての防災出前講座を実施（小学校は6校9講座（R6.2月時点））
- 将来教師をめざす長崎大学教育学部学生へ、長崎大学、長崎地方気象台、長崎河川国道事務所連携して、防災教育講座を実施（R5.12月）

## 小学生を対象とした防災教育



友達や家族の方々と一緒に避難ルートを確認

## 諫早市PTA連合会向けに出前講座



災害に関する防災講座(国)

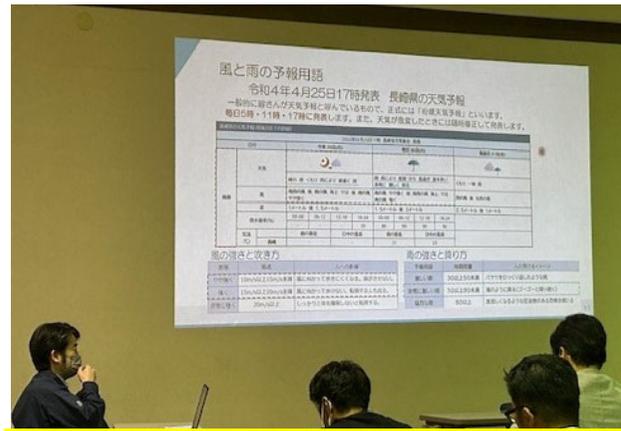
## 長崎大学教育学部学生への防災教育



気象・火山・水害等に関するオンライン講座



手づくり防災マップを作成



災害に関する防災講座(気象台)



学生による成果発表(防災マップ及び授業構想案)

# 本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～多機関連携型タイムラインの運用～【諫早市・長崎県・長崎地方気象台・長崎河川国道事務所】

- 関係22機関で策定した「本明川水害タイムライン」が、諫早市にて令和3年度より本格運用開始
- タイムラインに基づき、諫早市、長崎県、長崎地方気象台、長崎河川国道事務所、アドバイザーにて、意思決定グループ会議（Web）を開催し、出水前の情報共有、危機感共有を実施（令和5年度 3回）
- 更なる改善を図るため県管理区間の浸水被害、土砂災害も対象に追加した「本明川流域タイムライン」に改定し、令和5年度より試行運用を開始（R5.5.15、R5.10.25 全体会議を開催）



意思決定グループ会議（Web）実施状況



第1回本明川水害タイムライン全体会議（R5.5.15）

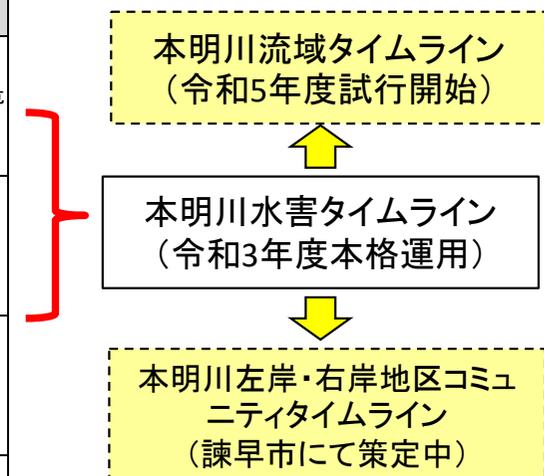


第2回本明川水害タイムライン全体会議（R5.10.25）

## ■水害対応タイムラインの種類と概要

種別	目的	概要	実施主体	参加機関	対象範囲	実施内容
流域タイムライン	流域自治体の防災対応に関する判断や行動を支援する	災害時に流域内の関係機関・市町村のトップや防災担当者が、連携・対応すべき行動を計画したもの	河川担当事務所（国）	・河川担当事務所 ・気象台 ・県 ・市町村 等	一級河川／二級河川の流域単位	流域全体の情報や危機感を早期共有
市町村タイムライン （多機関連携タイムライン） （マルチハザードタイムライン）	自治体内の住民の命を守る	災害時に市町村の各部署が対応すべき行動を計画したもの	市町村	・市町村（関係部局） ・消防、警察 ・教育委員会 等	市町村単位	・流域タイムラインの情報をもとに早期判断 ・避難情報提供、避難支援
コミュニティタイムライン	地域内の住民の命を守る	災害時に町内会が対応すべき行動を計画したもの	自治会、町内会	・自治会、町内会 ・消防団 ・民生委員、児童委員 ・学校、社協	自治会、町内会単位	市町村、各機関からの情報をもとに適切に避難
マイタイムライン （家族と私のタイムライン）	自身や家族の命を守る	災害時に家族単位で取るべき行動を計画したもの	家族、個人	・家族、個人	家族、個人単位	市町村、各機関、自治会、町内会からの情報をもとに適切に避難

## ■本明川に関する水害対応タイムライン



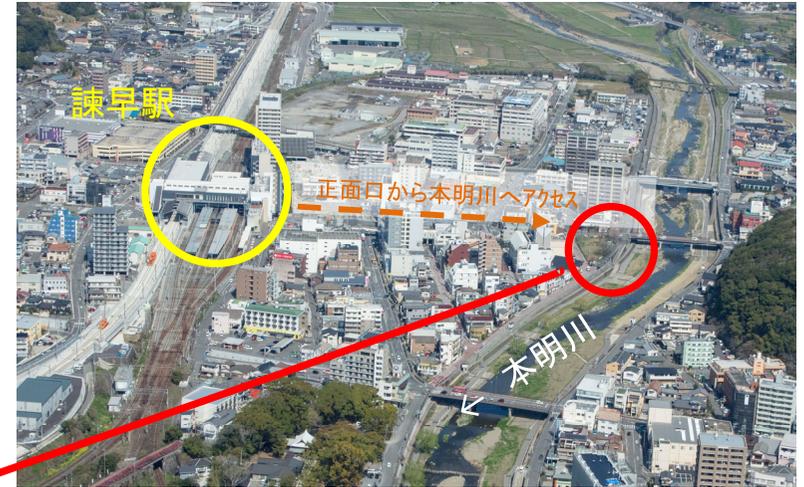
# 本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～洪水後の塵芥等の搬出拠点の整備～（天満・永昌地区かわまちづくり）【諫早市・長崎河川国道事務所】

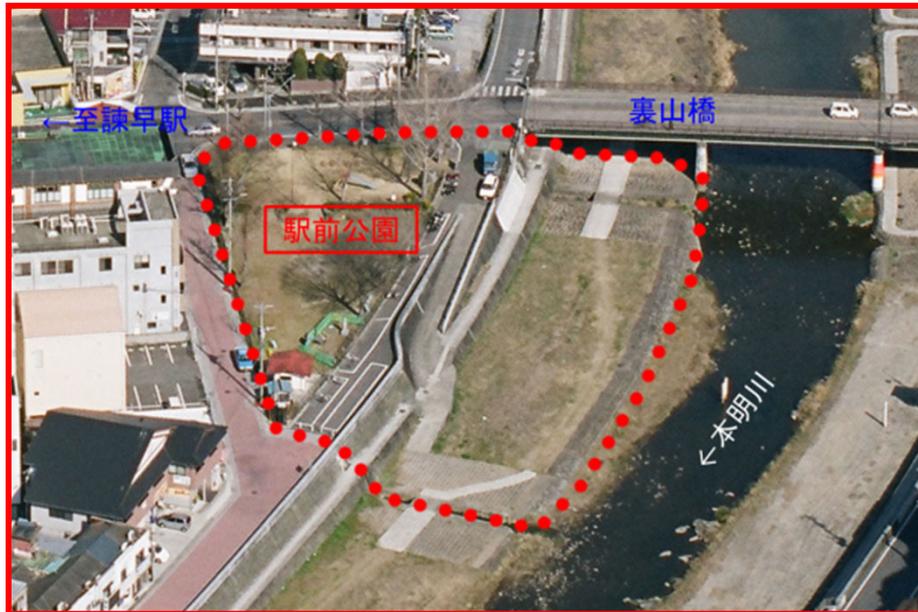
- 洪水後に発生する流木、塵芥等を迅速に集積・搬出するための拠点として、本明川右岸6k000付近の河川敷で高水敷整正、管理用通路を施工（令和4～5年度）
- 諫早市の駅前公園整備と合わせ、かわまちづくり事業として、築堤、護岸、高水敷整正、管理用通路を一体的に施工（平成25～令和5年度）



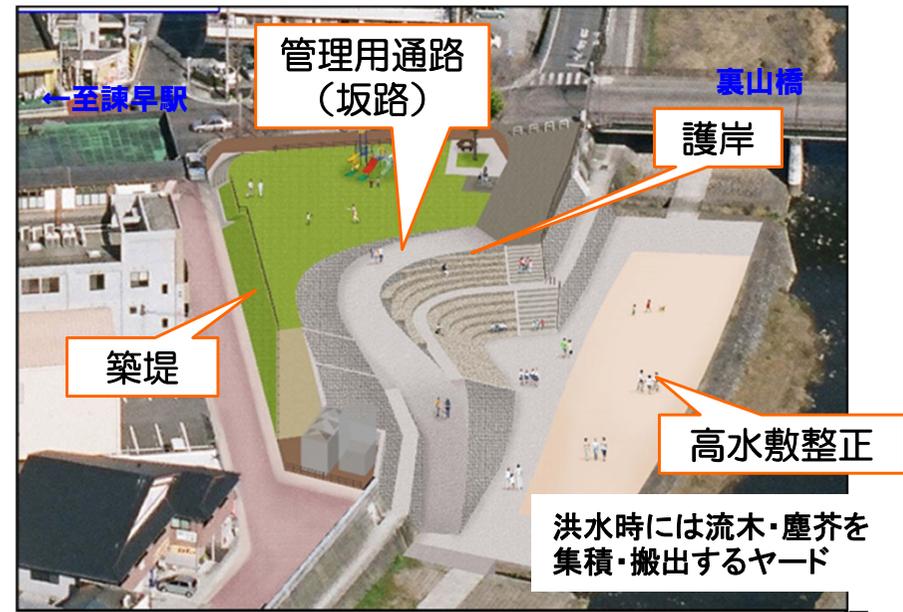
流木の堆積状況(S32.7諫早大水害)



諫早駅及び駅前公園



駅前公園及び高水敷(整備前)

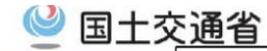


駅前公園及び高水敷(整備後イメージ)

## ■洪水に関する危険度情報の一体的発信

○地域の洪水の危険度を一元的に確認できるよう、これまで別々に提供してきた「洪水警報の危険度分布」（洪水キキクル）と「国管理河川の洪水の危険度分布」（水害リスクライン）を気象庁ホームページ上で一体的に表示。（R5.2.16 運用開始）

### 洪水に関する危険度情報の一体的発信



別紙

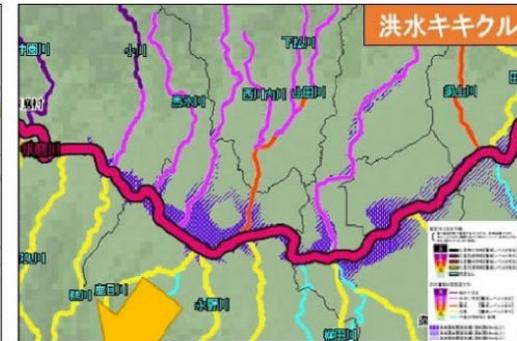
「国管理河川の洪水の危険度分布※」  
（水害リスクライン）

※ 大河川のきめ細かな越水・溢水の危険度を伝える

「洪水警報の危険度分布※」  
（洪水キキクル）

※ 中小河川の洪水危険度を伝える

国管理河川の詳細な予測情報は水害リスクラインで提供。



自治体・住民がそれぞれの詳細なリスク情報を洪水キキクルページ（気象庁HP）でワンストップで確認可能に



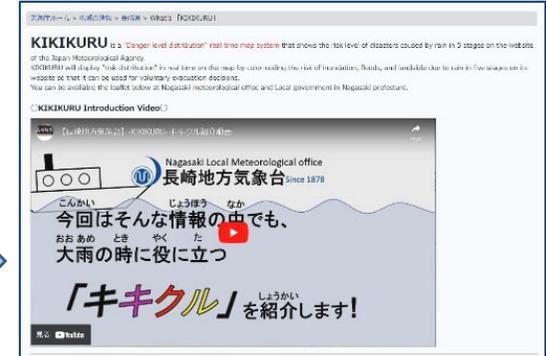
# 長崎地方気象台 取組状況

○在留・訪日外国人の方が防災気象情報を理解し、安全な避難行動に結びつけるための母国語のポイント解説コンテンツ等を制作・提供することで、外国人の方々を含めた地域全体の防災力を向上させることを目的とする。

現在提供中の外国人向け情報（赤字は前回報告時より追加）

○電子コンテンツ（長崎地方気象台HPに掲載中）

- ・天気予報、気象警報・注意報、キキクル…14か国語で表示可能
- ・キキクル紹介動画（易しい日本語での説明）

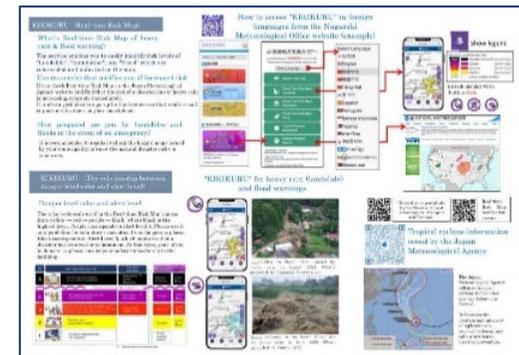


○リーフレット（長崎地方気象台HPに掲載中）

- ・WEBサイト利用啓発リーフレット  
「天気（てんき）をスマートフォンでみてみよう」  
…日本語（ふりがな付き）
- ・気象情報解説リーフレット  
「大雨の時の安全な避難行動のために」  
…日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ベトナム語、  
韓国語、インドネシア語、ネパール語



左の二次元コードから  
アクセスしてみてください！



# 本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

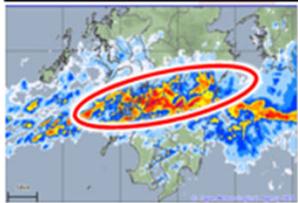
～プッシュ型情報配信、防災無線等を活用した情報発信の強化～

観測の強化、予測の強化の取組の結果を順次反映することで、**令和4年度より、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけを開始し、令和5年度より、「顕著な大雨に関する気象情報」（線状降水帯の発生をお知らせする情報）をこれまでより最大30分程度前倒して発表する運用を開始。**今後も、段階的に予測精度を向上。

線状降水帯による大雨の可能性をお伝え

「明るいうちから早めの避難」・・・段階的に**対象地域を狭めていく**

令和3(2021)年  
線状降水帯の発生を  
お知らせする情報  
(令和3年6月提供開始)



線状降水帯の雨域  
を楕円で表示

令和4(2022)年～

広域で半日前から予測  
(令和4年6月提供開始)

令和6(2024)年～

県単位で半日前から予測

〇〇県では、△日未明から  
明け方にかけて線状降水帯  
が発生し、大雨となるおそれ  
があります。

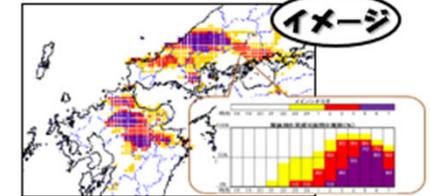
イメージ

次期静止  
気象衛星  
(令和11年度  
運用開始予定)



令和11(2029)年～

市町村単位で危険度の把握  
が可能な危険度分布形式  
の情報を半日前から提供



今年度の新たな運用

令和5(2023)年～

最大30分程度前倒して発表  
(令和5年5月25日提供開始)

令和8(2026)年～

2～3時間前を目標に  
発表

線状降水帯の雨域を表示

「迫りくる危険から直ちに避難」・・・段階的に**情報の発表を早めていく**

※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

**国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく**

(気象庁HPより一部抜粋)

本文URL : [https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jma\\_suigai/jma\\_suigai.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jma_suigai/jma_suigai.html)



# 長崎県 取組状況

# 本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

～砂防施設の整備促進による土砂流出抑制～

○大雨などによる溪流の浸食や山腹崩壊などで発生する土石流による被害を軽減し、下流域の河道閉塞や河川の氾濫を低減するため、本明川水系山口谷川事業間連携砂防事業を進めていきます。

## 【位置図】



### ○保全対象

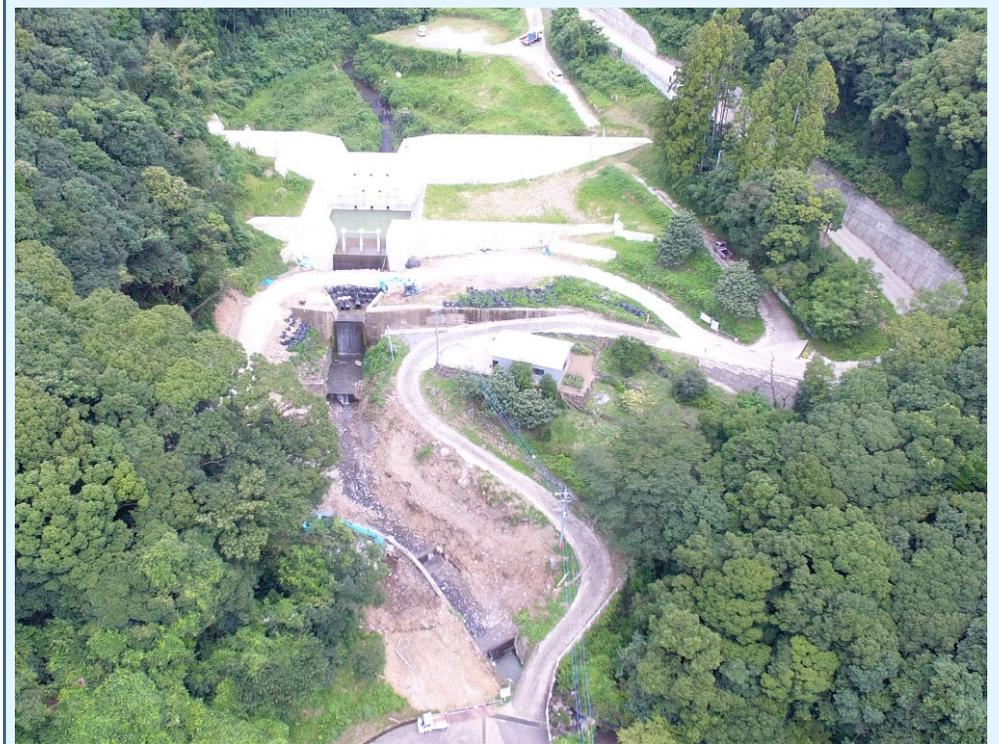
人家12戸、公民館1棟【地域防災計画に記載のある避難所】  
2級市道湯野尾線100m、その他市道山口高峰線160m

### ○実施内容

砂防堰堤1基（R2～R4債務） 溪流保全工1式（R5）



着工前



現況（9月初旬）

# 本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

～治山施設の整備促進による土砂流出抑制～

○諫早市高来町平田地区において令和3年度までに治山ダム2基の整備が完了し、土砂や流木の流出抑制により下流域の河道閉塞や河川氾濫の防止に対する効果を発揮している。

着工前



完成後 (R4.1)



保全対象

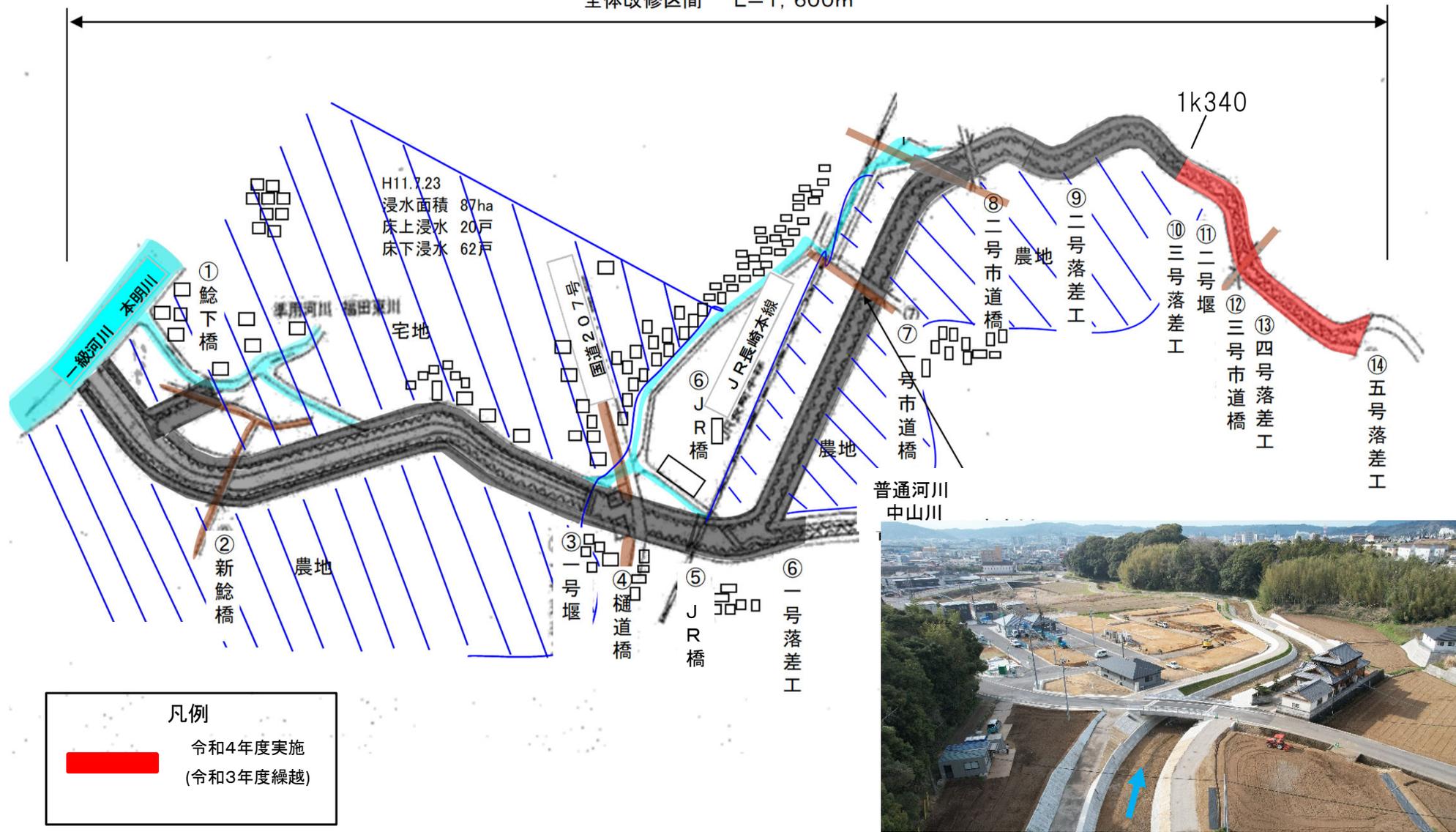


# 本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

～護岸整備（河道拡幅）中山西川～

- 平成2年度より支川中山西川の河川改修事業を実施。
- 洪水を安全に流下させるための取り組みとして、令和4年度に河川改修事業が完了。

全体改修区間 L=1,600m



施工状況(1k340～終点)

# 本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置～

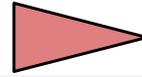
○既存の水位計の他、危機管理型水位計を長崎県にて設置済み。

○洪水時等に河川の状況を提供をすること目的として、簡易型の河川カメラの設置を実施。（令和3年 国1箇所 長崎県1箇所）



川の防災情報

で検索



水位情報やカメラ画像を確認

国土交通省  
川の防災情報

長崎県諫早市





# 諫早市 取組状況

# 本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策】

～排水機場等の整備・運用～

- 市街化の進展に伴う流出量の増加や、豪雨の激甚化・頻発化により内水被害が発生している4地区について、被害を軽減させるため、内水対策施設の再整備を行う。
- 令和5年度は、栗面地区の増設排水ポンプ場の排水管整備工事に着手しているほか、西里地区はバイパス水路外の整備に必要な用地の取得、西郷地区は既存排水ポンプ場の排水効率を上げるための制御監視装置の詳細設計、船越地区は新設排水ポンプ場の詳細設計を進めている。



## 令和5年度の取組状況

【1】栗面地区	増設排水ポンプ場 排水管工事、ピット工事
【2】西郷地区	既存排水ポンプ場 制御監視装置更新詳細設計
【3】船越地区	新設排水ポンプ場 詳細設計
【4】西里地区	新設バイパス水路外 用地取得、一部工事着手



内水対策施設整備事業 R3～R7 栗面、西郷、船越、西里 計4地区

# 本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

～豊かな森づくり基金による民有林の継続的な森林整備支援～

## ■豊かな森づくり基金による民有林の継続的な森林整備支援

○近年の木材価格の低迷や森林所有者の高齢化等により手入れ不足の森林が増加している中で、森林所有者が行う植栽や間伐等の作業に対する支援を行うことにより、森林整備を推進し、森林の持つ国土保全、洪水防止などの公益的機能を高度に発揮させる。

### 【事業計画】

#### ●広葉樹植栽推進計画・・・私有林等への広葉樹植栽及び広葉樹による複層林化の推進

	第1次計画(H18～R2)		第2次計画(R3～R12)		
	(計画)	(実績)	(計画)	(～R4実績)	(R5計画)
植 栽	225ha	210ha	90ha	11.6ha	5.0ha
複層林化	61ha	51ha	-	-	-
下 刈	1,360ha	1,262ha	800ha	94.8ha	45.3ha
除 伐	74ha	73ha	80ha	8.7ha	5.0ha

#### ●針葉樹整備促進計画・・・私有林等への針葉樹林の森林整備の推進

	第1次計画(H19～R2)		第2次計画(R3～R12)		
	(計画)	(実績)	(計画)	(～R4実績)	(R5計画)
植 栽	14ha	11ha	10ha	4.2ha	2.0ha
下 刈	77ha	62ha	113ha	11.3ha	8.7ha
間伐(除伐込)	1,700ha	1,811ha	1,930ha	302.2ha	154.5ha
枝 打	25ha	10ha	10ha	-	-
作 業 路	100,300m	143,889m	160,000m	16,138m	15,500m

### 【R4実施状況】



広葉樹(クヌギ)植栽



針葉樹(ヒノキ)間伐

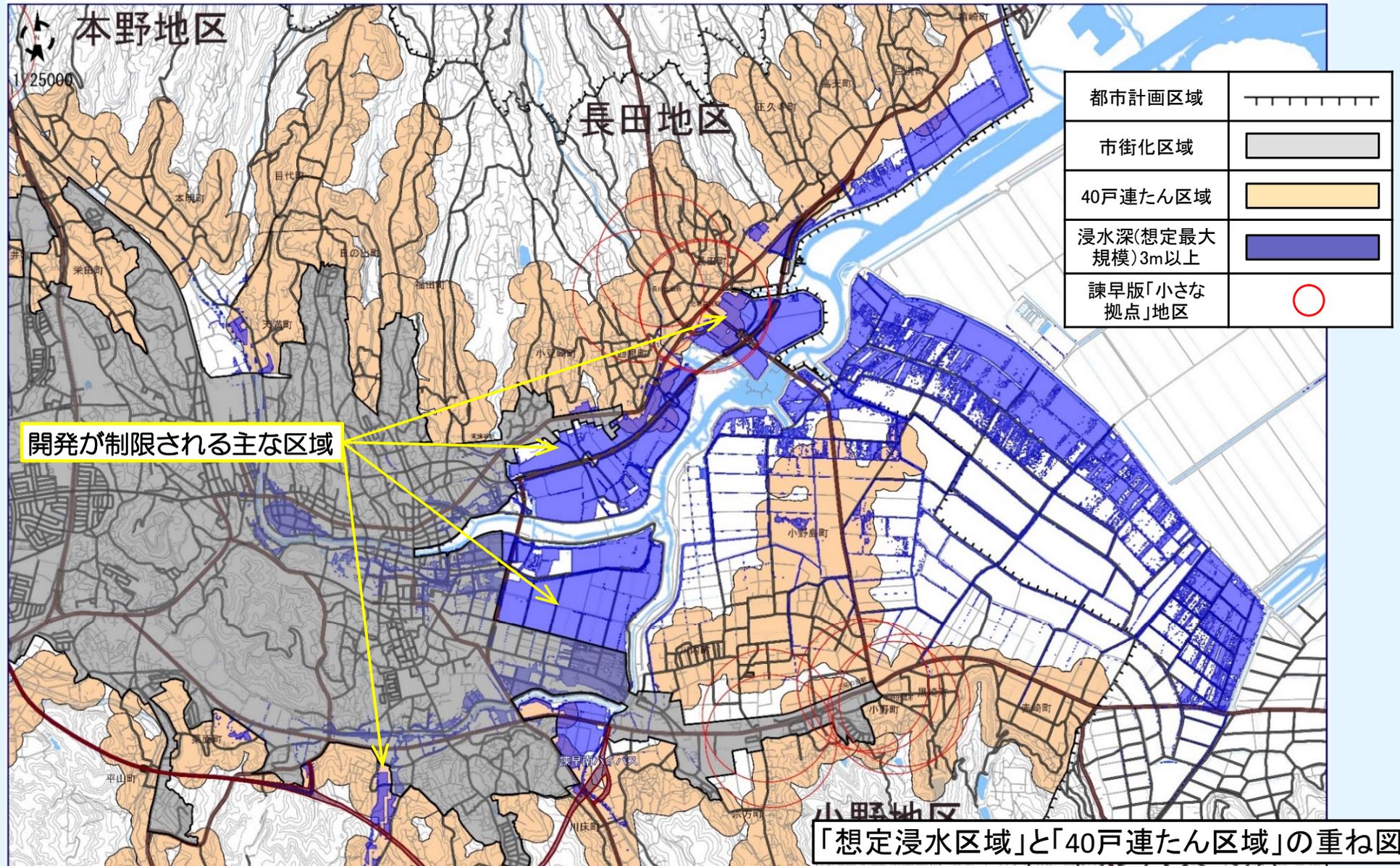


作業路整備

# 本明川水系流域治水プロジェクト【被害対象を減少させるための対策】

～市街化調整区域における新たな開発等への対応～

- 頻発・激甚化する自然災害に対応するため、災害ハザードエリアにおいて開発を抑制し、安全なまちづくりのための対策を講じる。
- 改正都市計画法（令和4年4月1日施行）に伴い、市開発行為等の許可の基準に関する条例を改正し、災害リスクの高いエリアでの開発を原則禁止。
- 本明川流域では、市街化調整区域内の浸水想定区域のうち、災害時に人命に危険を及ぼす恐れの高い、想定浸水深3m以上の区域が規制の対象。



区分	実施内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	市街化調整区域における新たな開発等への対応	諫早市	▶		





# 本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減早期復旧、復興のための対策】

～関係機関と協力した防災教育の促進～

- 自治会や各団体へ民間の知識や技術を活用した防災講座を実施  
(防災講座へのNPO法人街づくり防災・諫早の講師派遣、オンラインによるリモート型防災講座の実施)
- 国立少年自然の家との災害時における施設利用協定締結に基づく避難訓練の実施
- 市職員（幹部職員や新規採用職員）向けに防災講座を実施

## 民間の知識や技術を活用した防災講座



NPO法人による防災講座



リモート型防災講座

## 災害協定に基づく避難訓練



避難所設置や運営に関する職員訓練



住民による避難訓練

## 市職員に向けた防災講座



図上で本明川流域の浸水想定エリアを確認



防災体制の強化のための幹部職員研修

# 本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～講習会等によるコミュニティタイムラインの普及促進～

○水害時の防災活動の役割、避難行動を明確化したタイムラインの策定

○一つの自治会、町内会では対応できない避難場所の確保等、自治会、町内会の横の繋がりを重視した本明川左岸地区及び本明川右岸地区コミュニティタイムライン検討会の発足

## 【経過】

- 令和4年11月4日 本明川左岸・右岸地区コミュニティタイムライン検討会発足式・第1回検討会
- 令和5年2月13日 第2回本明川左岸・右岸地区コミュニティタイムライン検討会
- 令和5年8月18日 第3回本明川左岸・右岸地区コミュニティタイムライン検討会
- 令和5年11月21日 第4回本明川左岸・右岸地区コミュニティタイムライン検討会  
～22日 先進地視察(球磨村・人吉市)



構成自治会である右岸地区  
(16自治会)、左岸地区(9自治  
会)の自治会役員の参加による  
グループワーク

本明川左岸・右岸地区コミュニティタイムライン検討会  
(第1回:令和4年11月4日)